

様式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）(平成24年度)

1. 機関番号	1 4 6 0 3	2. 研究機関名	奈良先端科学技術大学院大学																								
3. 研究種目名	基盤研究(C)																										
4. 補助事業期間	平成24年度～平成26年度																										
5. 課題番号	2 4 5 0 1 0 5 5																										
6. 研究課題	Exchange For IT Education in Japan																										
7. 研究代表者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究者番号</th> <th>研究代表者名</th> <th>所属部局名</th> <th>職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>9 0 3 7 9 6 0 2</td> <td>M.D. バーカー M.D. BARKER</td> <td>情報科学研究科</td> <td>教授</td> </tr> </tbody> </table>			研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名	9 0 3 7 9 6 0 2	M.D. バーカー M.D. BARKER	情報科学研究科	教授																
研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名																								
9 0 3 7 9 6 0 2	M.D. バーカー M.D. BARKER	情報科学研究科	教授																								
8. 研究分担者	<table border="1"> <thead> <tr> <th>研究者番号</th> <th>研究分担者名</th> <th>所属研究機関名・部局名</th> <th>職名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名																				
研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名																								
9. 研究実績の概要	<p>今年は、研究計画の基礎を築きました。今年、教育の方法およびIT教育に関する学術的な文献を研究し始めました。さらに、コンピュータ・サイエンス2013年学習指導要領の検閲に深く関わりました。さらに、プロトタイプ・ウェブサイトの立ち上げを始めました。2012年4月に、南京、中国でCSEE&T（ソフトウェア工学教育およびトレーニング国際会議）に関する会議の運営委員長に選ばれ、出席しました。そこで、草案のコンピュータ・サイエンス2013年学習指導要領に関するワークショップ、およびソフトウェア工学教育とトレーニング用の将来研究指示を見るパネル・セッションを導きました。6月にスイスのチューリッヒにおいて、ソフトウェア工学教育トラックに関する多くのセッションが行なわれたソフトウェア工学(IICSE)に関する国際会議に出席しました。9月に、ルンド、スウェーデンでインターナショナルのソフトウェア工学リサーチ・ネットワーク会に出席しました。そこで、私たちは、経験的なソフトウェア工学の未解決の問題を検討し、共同作業を促進する方法を検討し、推奨可能な核心的図書目録について話し合いました。そして更に、9月に、北京(ISCAS)において、中国における彼らの研究と教育プログラムについて議論をし、私は、研究と教育へのデジタル革命の影響に関するプレゼンテーションをしました。</p> <p>プロトタイプ・ウェブサイトは、容易に速くドキュメント、リンクおよび要約のような材料を加えるために、サイトが能力を必要とすることを実証しました。さらには、よい構成および材料へのアクセスを提供するに違いありません。現在、グーグルサイトのウェブサイトは、そのような能力を提供しているように見えますし、このグーグル検索機能はとてもよく知られています。</p>																										

10. キーワード

(1) 教育方法	(2) ベスト・プラクティス	(3) 日本の高等教育	(4)
_____	_____	_____	_____
(5)	(6)	(7)	(8)
_____	_____	_____	_____

11. 現在までの達成度

(区分)(2) おおむね順調に進展している。

(理由)

当初の予定通り、研究の次の過程の基礎を築くことができました。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

会議に出席します。

ウェブサイトを組織します。
系統的な文献レビューを行ないます。

(次年度の研究費の使用計画)

当初の計画通りに執行した結果、未使用額が生じました。計画案からの変更はなく、未使用額を含めて、多くを海外への出張費や学会参加費に使用します。

13.研究発表(平成24年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名	論文標題			
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)				

(学会発表) 計(3)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名	発表標題	
Mike Barker	Panel Session: Research Directions for Software Engineering Education and Training	
学会等名	発表年月日	発表場所
CSEE&T 2012	2012年04月18日	Nanjing, Jiangsu, China

発表者名	発表標題	
Mike Barker	Workshop: Exploring the Computer Science 2013 Curriculum Guidelines	
学会等名	発表年月日	発表場所
CSEE&T 2012	2012年04月17日	Nanjing, Jiangsu, China

発表者名	発表標題	
Mike Barker	Talking in a Typhoon: Communications in the Digital Revolution	
学会等名	発表年月日	発表場所
ISCAS Research Exchange	2012年09月11日	ISCAS, Beijing, China

(図書) 計(0)件

著者名	出版社		
書名		発行年	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

備考欄
